

令和5年度事業報告書

特定非営利活動法人

子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

はじめに

令和5年度は、コロナウィルス感染症が5類に移行し、世の中の流れがようやく落ち着きを取り戻しつつある年度であった。本団体もアニマルセラピーの再開、ランチ作りの再開など、できることから以前の体制に戻しつつ、感染症にも留意しながら活動を進めてきた。生徒・保護者・スタッフ等関係者の協力もあって、特段の問題もなく無事終了した。以下はその事業報告の詳細である。

1. 事業実施の概略

本団体は、不登校、引きこもり等に悩む若者や保護者の方々に、相談業務、フリースクールでの学習及び生活指導を通して相互の理解と協力関係を構築してきた。（定款第3条）そこで、特定非営利活動に係る（1）フリースクールにおける青少年支援活動事業（2）スタッフのカウンセリング研修事業（3）青少年の健全育成に関する事業について、それぞれの事業を展開してきた。（定款第5条）以下その詳細について報告する。

2. 事業の実施に関する事項

（1）青少年支援活動事業

ア フリースクール支援事業

（ア）事業内容

① 学習指導及び生活指導

・日 課

（教室内清掃と消毒、教室入室記録）

9：30～9：40 諸連絡

9：40～11：30 自主学習（基礎学力充実）

11：30～12：30 軽運動室にて卓球（水・木曜日）

12：30～13：30 昼食

13：30～15：00 リクリエーション、手芸、ゲームなど

・毎週木曜日2部学習支援 14：30～17：00…青少年の学習支援と居場所の提供

内容（会話、トランプゲームなどの交流、学習、読書、屋外での軽運動など）

・利用施設は「アイプラザ半田」内109号、110号室（いずれも本スクール活動室）

・活動日：

・4月7日～7月20日（夏休み7月21日～8月24日）

・8月25日～12月22日（冬休み12月23日～1月8日）

・1月9日～3月22日（春休み3月23日～4月8日）

第1号議案：令和5年度事業報告書（2）

②進路相談

・公立の定時制、通信制高校及び私立の通信制サポート校などの情報提供を行い、受験に必要な学習指導や作文・面接指導も継続して行った。並行して進路相談業務も進めた。

③スポーツ・リクリエーション（市教育委員会による減免措置を受けている）

a 月1回主に火曜日 13：00～14：00 半田市体育館（主にバスケット、バドミントン）

b 毎週水・木曜日 11：30～12：30 施設内の軽運動室（卓球）、毎回参加者生徒平均2～5名

④相談業務

・必要に応じ適宜行っている。a 本人の申告によるもの。b スタッフが必要と認めたもの。

c 緊急に必要と認められた場合。d 進路支援に関わる相談業務。e 相談活動：随時

⑤茶道教室

・アイプラザ半田茶道室…11月16日（木）講師1名、参加8名

⑥アニマルセラピー

・毎月第4木曜日、ボランティア団体の協力のもと、主に中庭を利用して犬と猫に触れ合った。

・本年度、11月と2月に中井ウイングセラピーさんの協力のもと、鷹やフクロウ等の鳥によるアニマルセラピーを始めた。羽に触ったり、腕に乗せたりして触れ合うことができた。

⑦令和5年度卒業・修了を祝う会

・開催日時：令和6年3月23日（土）10：00～12：00

・会場：アイプラザ半田2階小ホール

・内容：卒業・修了を祝う会・懇談会

・出席者：卒業生4名（高校生1名、中学生2名、小学生1名）

修了生6名（小学校生1名、中学生5名）

保護者4名、スタッフ12名、親の会7名、来賓4名、（計：37名）

・懇談会では子どもたちや保護者の方がそれぞれに発言した。のぼす会で過ごしていた時の気持ちや感謝の言葉が話され、涙溢れる温かい会となった。

（イ）従事者人数

1日平均3～6名

（ウ）受益対象者人数

3～7名

（エ）費用総額 466,876円

内訳：（教材費19,007円 印刷製本費250円 旅費交通費325,840円

消耗品費121,779円）

（オ）収益 0円

イ 「ハートルーム」及び「寺子屋事業」

（ア）事業の性格

①「ハートルーム」：毎月第3土曜日（10：00～15：00）、に小学生を中心に学習、遊び、工作 手芸、講師を依頼しての特別教室などの活動を展開している。最初は子どもの扱いに困った母親の相

第1号議案：令和5年度事業報告書（3）

談が主であったが、子どもも参加するようになった。

- ②「寺子屋事業」：「半田市・子どもの学習・生活支援事業（長期休暇学習支援事業）に係る協定書」に基づいて、長期休暇中に、学校以外に安心して過ごせる居場所を提供し、学習支援を実施する。当事業は「半田市子ども未来部子ども育成課」との協力関係を維持しながら現在に至っている。

（イ）実施内容：

工作、手芸、ゲーム、コマ回し、リクリエーション、歌、新聞作り、野外観察などに取り組む。

- （ウ）利用施設：上記①②とも、活動場所は109、110号室、中庭、軽運動室、
半田市内の公園、社会施設等

（エ）従事者人数：「ハートルーム」「寺子屋事業」とともに3～4名。

（オ）「ハートルーム」の受益対象者人数、延べ18名。主に中学生、高校生が参加。

（カ）親たちによる「おしゃべり会」ハートルーム開催日13：00から毎回出席者3名程度

（キ）「寺子屋事業」の実施期間と受益対象者人数

夏期：寺小屋事業…7月24日（月）、25日（火）、26日（水）、8月17日（木）、18日（金）、21日（月）、22日（火）

※受益対象者人数：20名（小学生6名 中学生9名 高校生5名）（スタッフ3～5名）

冬期：寺子屋事業…12月25日（月）、26日（火）、27日（水）

※受益対象者人数：11名（小学生5名 中学生4名 高校生2名）（スタッフ3名）

春期：寺子屋事業…3月25日（月）、26日（火）、27日（水）

※受益対象者人数：13名（小学生5名 中学生5名 高校生3名）（スタッフ3名）

（ク）費用総額82,525円

内訳：（諸謝金3,672円 旅費交通費38,000円 通信運搬費2,620円 消耗品費35,113円
賃借料3,120円）

（ケ）収 益 0円

ウ OB・OG活動支援事業

（ア）事業内容

- ①卒業生や高校生を中心とする進路・悩み等の相談業務への対応
②のばす会への行事参加

（イ）従事者人数 1名

（ウ）受益対象者人数

・年間8名が参加。

（エ）費用総額 1,000円

・内訳：（旅費交通費1,000円）

（オ）収 益 0円

エ 第2部学習支援事業

（ア）事業内容

- ①毎週木曜日（14：30～17：00）参加者は中学生、高校生、卒業生たちで、居場所の提供をした。
②学習支援：ボランティアやスタッフに支えられて活動しているが、定期的に活動できる学生スタ

第1号議案：令和5年度事業報告書（4）

ツフが確保できないので自習が続いた。

③ 進路相談：本人の希望第一に繰り返し対応した。2部担当以外のスタッフの協力で支えられた。

（イ）従事者人数

・ 1日2名

（ウ）受益対象者人数

・ 1日平均2名（中高校生）

（エ）費用総額 63,798円

内訳：（旅費交通費 62,000円 消耗品費 1,798円）

（オ）収 益 0円

（2）カウンセリング研修事業

ア カウンセリング研究会

（ア）事業内容と開催趣旨

本団体が指導を受けている臨床心理士の助言に基づき、スタッフのカウンセリング技法の向上、保護者へのカウンセリングに対する理解などを図るための手法を学んだ。具体的には、ケーススタディーを扱うと同時に、テキスト・参考文献の選定を受けて、それに基づいての学習が行われた。また、臨床心理士のコラムをニュースレターやホームページに掲載した。

（イ）開催日時

・ 毎月第3月曜日 17:30～19:30 アイプラザ半田 109号室

・ 本団体の主要スタッフの研修に加え、臨床心理士による指導・助言により開催された。

（ウ）費用総額 15,500円

内訳：（旅費交通費 15,500円）

イ スタッフのカウンセリング研修と親の会

（ア）事業内容

スタッフの研修を通して、子どもたちや保護者が抱えている問題をより理解することを目的とした。また、保護者の方々が、ともに自らの気持ちを語り合う場（「親の会」）の提供を行い、時には、ケーススタディーとして位置付けて臨床心理士の助言・指導を受けた。

（イ）開催日時と会場・参加人員

・ 10月7～8日（土・日）全国連絡会主催「登校拒否・不登校問題に関する・第25回全国の集い（京都大会）」スタッフ1名と親の会3名が参加した。

・ 研修内容については、スタッフ会議とニュースレターで発表した。

（ウ）親の会

・ 毎月第3月曜日 13:30～15:30 109号室で開催

・ 親の会ランチ会 5月15日（月）浜木綿 7名参加

・ 参加人員 6～8名

（オ）費用総額 59,967円

・ 内訳：（会議費 6,520円、旅費交通費 42,440円、研修費 7,000円、教材費 4,007円）

（3）青少年の健全育成に関する事業

第1号議案：令和5年度事業報告書(5)

ア 文化祭事業

(ア) 開催日時：令和6年1月27日(土)13:30~15:00

(イ) 実施会場：アイプラザ半田2階・小ホール

(ウ) 準備時間帯：12:00~13:10

- (1) 会場設営
- (2) 生徒作品(ぬり絵、手芸品、習字など)の展示
- (3) リハーサル(全体、発表者、オープニングピアノ)

(エ) 実施時間帯：13:30~15:00

(オ) 実施内容：

- (1) 代表挨拶
- (2) オープニング(ピアノ演奏)
- (3) 講演会「のばす会の30年を振り返って」(元のばす会代表：伊藤八千穂)
- (4) スタッフ紹介
- (5) 終わりの挨拶

(カ) 費用総額 31,250円 内訳：(旅費交通費11,500円 賃借料19,750円)

(キ) 収益 0円

3. 古川一也公認会計士事務所コンサルティング

会計について処理の仕方などを相談し、適切な助言をいただいて処理してきた。

4. 日本福祉大学との連携(サービ斯拉ーニング)事業協力について

(1) 事業の実施方法

実施主体の日本福祉大学では、市民活動の中間支援組織であるNPO法人「地域福祉サポートちた」をパートナーとし、当団体としては両者の要請に応える形で事業の実施に当たった。

(2) 事業の内容

ア. 5月30日(火)10:00~12:00 新年度体制について情報交換会 知多市市民活動センター

イ. 6月9日(金)10:00~12:00 日本福祉大学 第1回打ち合わせ会

ウ. 6月29日(木)14:00~16:00 アイプラザ半田 学生4名 のばす会訪問

エ. 7月20日(木)14:00~17:00 フリースクール参加 参加学生2名

オ. 寺子屋事業参加13:00~16:00

8月17日(木)参加学生3名、8月18日(金)参加学生3名

8月21日(月)参加学生3名、8月22日(火)参加学生3名

カ. フリースクール参加10:00~15:00

8月29日(火)参加学生1名、8月30日(水)参加学生3名

8月31日(木)参加学生1名、9月1日(金)参加学生1名

キ. 10月14日(土)13:10~16:35 サービスラーニング活動報告会 日本福祉大学

(3) 参加学生数

・日本福祉大学社会福祉学部2年生 4名(男子1名、女子3名)

(4) 担当者

○のばす会担当者：伊藤 里香、伊藤 敦

第1号議案・令和5年度事業報告書(6)

○大学担当者:日本福祉大学 社会福祉学部 大林研究室 大林由美子

(5) 事業収益 20,000円

6. 地域社会と行政及び社会貢献型企業の開催事業への参加

- ・従前の企業の社会貢献イベント事業は開催されていない。

7. 他団体との交流・協力のための会議・研修・情報交換

- ・5月30日(火)「サービスマーケティング新年度体制についての情報交換会」 知多市活動センター
10:00~12:00 伊藤里香
- ・6月9日(金)「サービスマーケティング打ち合わせ会」日本福祉大学 9:20 (伊藤里・伊藤敦)
- ・7月8日(土)講演会『「まち・ひと・しごと」で考える子ども支援の未来効果』アイプラザ半田
講師:湯浅 誠 13:30~15:00 (赤松・村瀬・伊藤里・松原・吉田)
- ・7月18日(火)教育と福祉の連絡会議 乙川中学校 16:00~ (赤松)
- ・8月5日(土)『子どもの自立を支える「親の会」』半田市教育委員会主催 10:00 半田市役所
※のばす会を紹介した (赤松)
- ・9月24日(日)「若者サポート進路を考える会」知多市青少年会館 14:00~16:30 (榊原)
- ・10月7日(土)~8日(日)「第25回登校拒否・不登校問題全国のつどい in 京都」
ギャラリーかめおか(新村・吉田・松原・佐々木)
- ・10月14日(土)「サービスマーケティング活動報告会」13:10~16:35 日本福祉大学 (伊藤里)
- ・10月18日(水)「令和5年度フリースクール連絡協議会」愛知県教育委員会主催 14:00~16:00
オンライン (赤松)
- ・11月19日(日)「公立の定時制・通信制高校説明会」愛知県教育会館 13:30~16:00 (榊原)
- ・12月4日(月)「日本福祉大学大林ゼミ・コラボ企画の話し合い」13:30~ 105号室 (赤松)
- ・12月9日(土)「半田市子ども未来ミーティング」9:30~12:00 半田市役所
(赤松・村瀬・伊藤里・吉田)
- ・1月18日(木)「日本福祉大学大林ゼミ学生による<豚汁を食べる会>」13:30 105号室(赤松)
- ・2024年3月10日(日)「まちづくり協議フェスタ」10:00~15:00 クラシティ (赤松・榊原)

8. 主な訪問者・見学者及び訪問団体

- ・5月12日(金)半田市長
- ・5月25日(木)「My Town誌 半田・阿久比」日比企画 1名
- ・7月4日(火)知多教育事務所 相談員 1名
- ・7月24日(月)、8月18日(金)、8月21日(月)、12月25日(月)
半田市子ども未来部子ども育成課 1名
- ・8月17日(木)、9月28日(木)、12月27日(水)日本福祉大学教員 1名
- ・1月17日(水)JA あいち・知多女性部 2名
- ・3月23日(土)(令和5年度卒業・修了を祝う会)へ 教育関係者 5名、行政 2名

9. 助成金に関する報告

ア 助成金の種類

- ・令和5年度半田市生活困窮者支援団体活動費補助金 担当部署（半田市子ども育成課）
対象事業：「寺子屋事業」助成金・・・・・・・・・・・・・・・・120,000円

イ 助成金への対応

- ・一層充実した活動に心掛け、お礼と共に定期的な会計及び活動報告を行った。

10. 寄付又は寄贈及び寄付金に関する報告

(1) 寄付の種類

(ア) 寄付（支援物資を含む）

・募集方法

募集方法：ニュースレター及び文書による募金のお願い。預金口座により寄付金を募り、寄付者へのお礼をニュースレターに掲載する。

(イ) 寄付金

- ① 個人の寄付金（受取寄付金） 565,900円
- ② 団体の寄付金（賛助会員受取会費） 34,443円
- ③ 団体の支援物資

- ・日本証券業協会・「子どもサポート証券ネット」加盟会社…物品(支援物資)寄付団体一覧
・岩井コスモ証券株式会社・岡三証券株式会社・立花証券株式会社

支援物資の内容：(お米5キロ15袋、食品詰め合わせ、レトルト食品等)

- ・半田市社会福祉協議会…アイスクリーム、菓子類等
- ・伊藤労務社会保険相談事務所・・・漫画本89冊(7,000円相当)
- ・ブルーベリーハート知多・・・ブルーベリージャム、サツマイモ

- (2) 書き損じハガキと未使用切手の回収事業：切手代：55,202円（資産受贈益として計上、前年度繰越分含む）回収事業を行い、のばす会に在籍した人たちや相談に来られた方に「のばす会・ネットワーク便り」や講座などの案内を郵送する通信費に充てた。

- (3) イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン ギフトカード：10,500円（資産受贈益として計上）
図書券等 12,000円（資産受贈益として計上）

- (4) 個人のみな様より、食品や衣類、消毒液、文房具、本、雑貨など多くの寄付が寄せられた。

- (5) 物品(支援物資)の寄付及び寄付金への対応

- ・寄付及び寄贈者に対して受領記録簿に記入の上、お礼及び会計・活動報告を例年同様継続して行った。

11. 広報活動について

- (1) 本団体ホームページの 随時更新

- (2) ニュースレターの年3回の発行

- a 「のばす会・ネットワーク便り」第30号：2023（令和5）年4月8日発行
- b 「のばす会・ネットワーク便り」第31号：2023（令和5）年8月5日発行
- c 「のばす会・ネットワーク便り」第32号：2023（令和5）年12月5日発行

第1号議案:令和5年度事業報告書(8)

※会員、寄付者、相談者、過去在籍者、及び関係の個人や各関係各機関に配布した。

(3) 日本財団が運営するCANPANに団体情報を掲載し、全国に情報を開示した。

12. 会議の開催に関する事項

ア 理事会

(ア) 開催日時及び場所

・令和5年5月13日(土) 11:00 ~12:00 アイプラザ半田109号室

(イ) 議題

a. 審議事項

- ・第1号議案:令和4年度事業報告書について
- ・第2号議案:令和4年度活動計算書について
- ・第3号議案:令和5年度事業計画(案)について
- ・第4号議案:令和5年度事業予算(案)について
- ・第5号議案:令和5年度役員変更(重任)について
- ・第6号議案:令和5年度役員変更(新任)について

b. 報告事項

- ・年間役員名簿について

イ 通常総会

(ア) 開催日時及び場所

・令和5年5月13日(土) 13:00~14:00、アイプラザ半田第一会議室

(イ) 議題

a. 審議事項

- ・第1号議案:令和4年度事業報告書について
- ・第2号議案:令和4年度活動計算書について
- ・第3号議案:令和5年度事業計画(案)について
- ・第4号議案:令和5年度事業予算(案)について
- ・第5号議案:令和5年度役員変更(重任)について
- ・第6号議案:令和5年度役員変更(新任)について

b. 報告事項

- ・年間役員名簿について

以上